



治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
山梨県本部

〒400-0026

山梨県甲府市塩部4-13-1

清水宅

山梨県版  
編集発行人  
田中鉄夫  
Tel. 055-253-9710  
Fax 同上

- 私たちの運動の基本方針
- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
  - 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。
  - 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

# 歴史を見据えた請願署名・会員拡大を 推し進めよう！

コロナの感染拡大、後手後手に廻る対策も法令違反、憲法違反で『撤回』の連続の中で国民の大きな犠牲のなかで五輪が開催されようとしています。安倍・菅政権のもと、「戦争する国」づくりに拍車がかかっています。

「なぜ、いま国賠同盟が必要か」今日的意義、立場で捉えることが重要になっています。この観点で活動を振り返ると、県総会で紹介された、多くの諸団体に呼びかけられた署名行動、統一行動、学習活動の実践が理にかなった法則のもとにすすめられていることがあきらかになっています。

## 甲府南支部での教訓

甲府南支部での支部づくりの経験は教訓的です。甲府南支部では三〇数名の会員を有していましたが、先頭に立つ活動家が不在でした。二〇〇六年から県同盟の中心で活動していた会員がいますが、体調不良と他の任務で支部づくりに専念できませんでした。そこで現在の支部三人衆の女性が立ち上がり、支部ニュースの発行と配布、支部会議には必ず学習会を行う、入会対象者にも参加をよびかける、等、大きく前進しています。『千代子』の上映権も獲得し、他支部の建設にも関わっています。

千葉県での学習会の経験は衝撃的です。九六人中四八人が非同盟員で、後に手紙で一五人が入会した経験は勇気を与えられました。

県下には多くの会員がいますが、支部のない所も大半です。小さくても毎月、支部会議で情勢が学べる支部、支部活動を通じて仲間を増やしている活動が重要です。

## 地域の情勢を変える署名 活動で目標達成を！

署名目標(個人)・・・三〇〇〇筆  
(団体)・・・一五〇筆

この目標が長いこと掲げられています、未だに達成されていません。今年度こそ目標達成を実現しましょう。

## 支部建設を急ごう

- 甲府北
- 河東
- 峡東
- 峡西
- 峡南

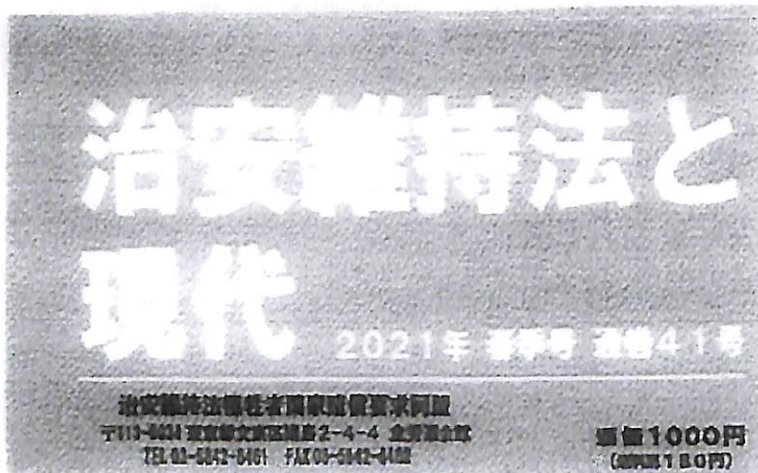
# 第31回全国女性交流集会

日時：2021年10月24日(日)～25日(月)

会場：ニューウエルシティ湯河原

記念講演 講師：清末 愛砂 さん

(室蘭工業大学大学院工学研究科准教授)



● エッセイ 戦前の日本社会の映画分野の弾圧の歴史は、悪法「映画法」羽田三良 / 没後70年 治安維持法下の宮本百合子 澤田 幸子 / 島崎こま子の“第二の人生”一英のように生きて 山本 隆 / 秩父事件と女性たち 鈴木 雅治 / 日本の革命歌・労働歌 私の体験記一歌のルーツに触れながら 西田 清

短歌 百年隔て我が胸を打つ 上田 龍一

● 研究報告 浅野晃「幻想詩集」を読む—伊藤千代子への思いと救済を求めて 入谷 寿一

こころざしに生きて、良縁と再会を望んだ  
伊藤千代子の遺言 2021年秋クラフクイン

映画「伊藤千代子の生涯(仮)、今日的意義 著 狂三郎

● 抵抗の肖像 夫の生涯・安部龍子の覚悟 大石直美  
専 / 「山形地方裁判所未決事件」—瀬田力之助先生を  
偲んで 山口 直 / 多喜二の9日目に成された西田清  
春、闘いの軌跡(下) 西田 晃

● 会員1800人突破し、自主目標1050人達成 兵隊 /  
同盟意見書を採択—青森県五所川原市 西崎 / わが県の  
犠牲者名簿を編集・発行して 若手、福井、原良、大田、長岡

治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を  
求める運動 20年度紹介議員117名

著者号

「新自由主義」とコロナ・パンデミック  
ジェンダー・ギャップ指数と日本社会の課題

清末 愛砂

情勢分析

3・11大震災から10年、福島  
の現状と復興の課題  
—急浮上した敵基地攻撃能力

伊東 達也

## 巻頭論文

日本学術会議任命拒否と反憲法政治  
戦前のもう一つの学問統制・学問動員  
拷問の時代を終わらせるために — 国際人権法の視点から

小沢 隆一  
萩野富士夫  
前田 朗

## 終戦記念日・駅前宣伝

● 八月一五日(日)の終戦記念日にマイクによる  
宣伝とビラ配布を行います。場所はJ.R甲府駅  
前南広場 午前七時半～八時半におこなわれます。多くのみなさんのご協力をお願いいたします。  
● 各支部も統一行動を計画してください。